

富山県の将来人口

(国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に準じた単純試算)

富山県の将来人口試算

国の将来人口推計

区分		日本創成会議	国立社会保障・人口問題研究所	国の長期ビジョンに準じた単純試算	まち・ひと・しごと創生長期ビジョン
2010年10月 現在人口		1,093,247人	1,093,247人	1,093,247人	128,057,352人
合計特殊 出生率		●今後も現状並み(1.4程度)で推移	●今後も現状並み(1.4程度)で推移	<ul style="list-style-type: none"> ●段階的に上昇し、2030年に1.9程度(県の希望出生率)まで向上 ●その後さらに上昇し、2040年に2.07程度(人口置換水準)まで向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●段階的に上昇し、2030年に1.8程度(国の希望出生率)まで向上 ●その後さらに上昇し、2040年に2.07程度(人口置換水準)まで向上
人口移動		●今後も現状並みで人口が流出	<ul style="list-style-type: none"> ●人口流出が段階的に減少し、2020年に半減 ●2020年以降は半減のまま継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口流出が段階的に減少し、2020年に均衡状態(社会減ゼロ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 2010年社会減 ▲1,454人 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年までに東京圏から地方への転出転入を均衡状態 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 地方⇒東京圏転入 6万人減 東京圏⇒地方転出 4万人増 </div>
将来人口	2020年	約102万4,000人	約102万8,000人	約104万1,000人	約1億2,000万人
	2040年	約82万人	約84万1,000人	約91万6,000人	約1億1,000万人
	2060年	—	—	—	約1億人
	2110年	—	—	—	約9,000万人

富山県の将来人口

(千人)

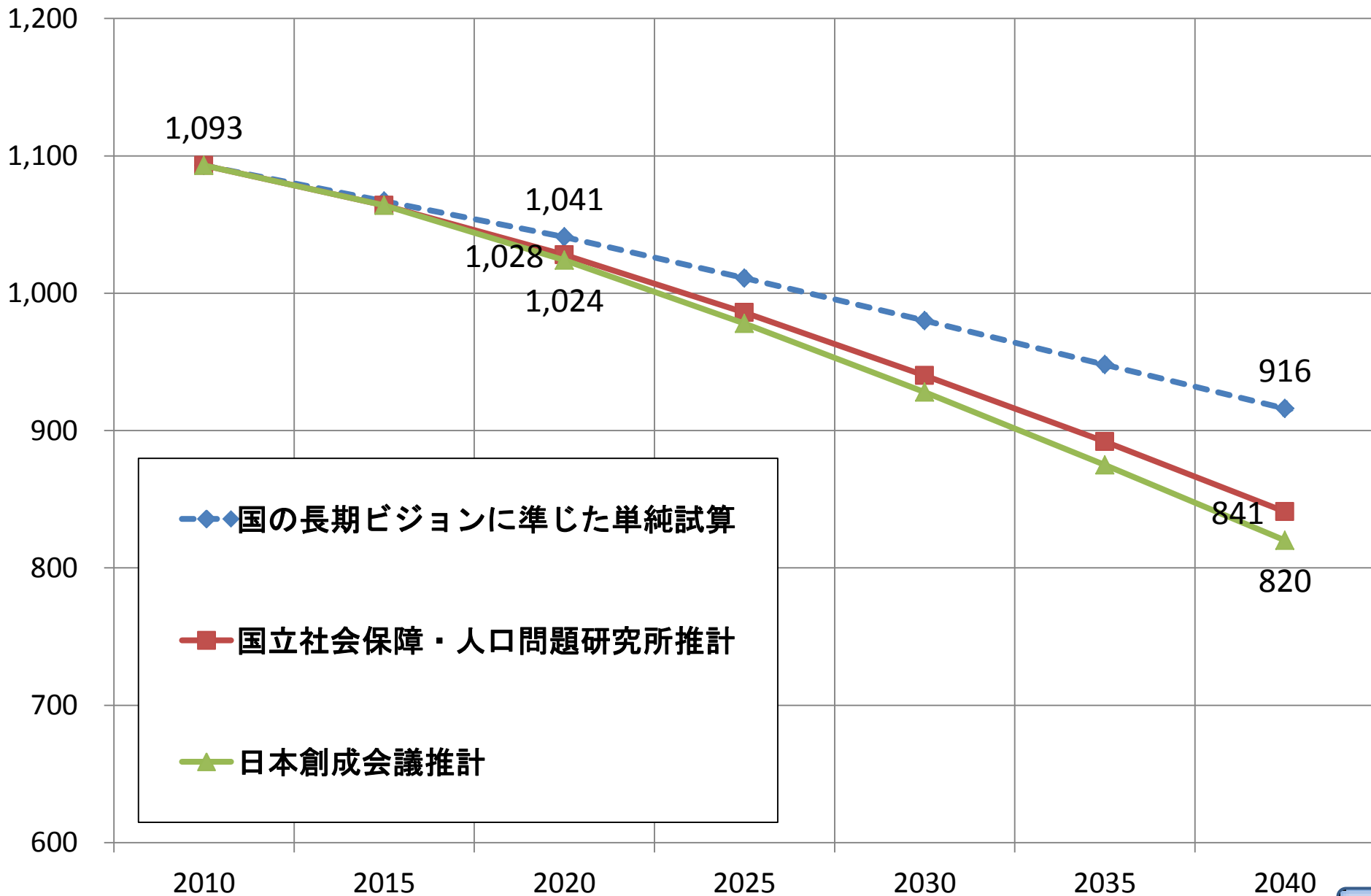
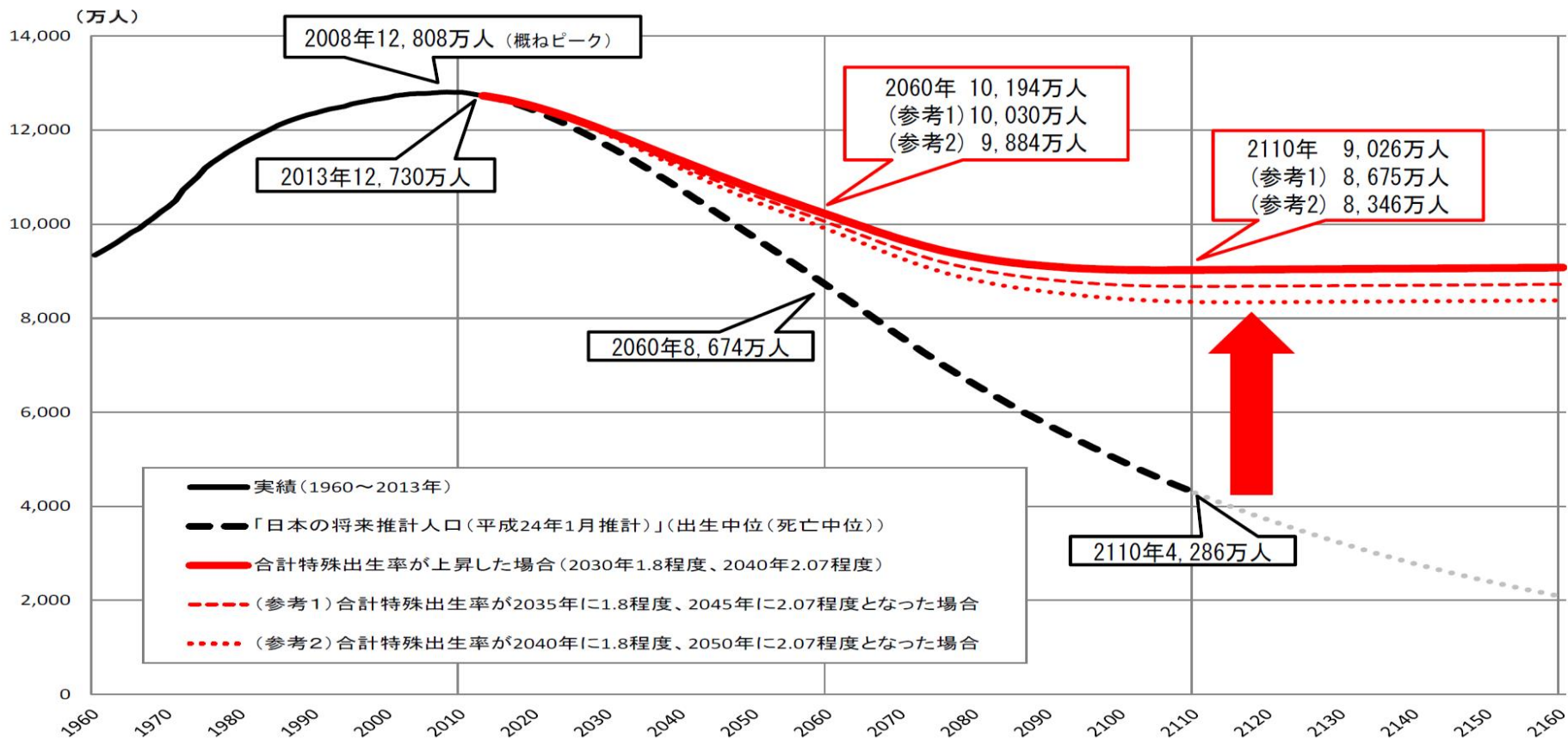


図1. 我が国の人口の推移と長期的な見通し

- 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））によると、2060年の総人口は約8,700万人まで減少すると見通されている。
- 仮に、合計特殊出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07程度（2020年には1.6程度）まで上昇すると、2060年の人口は約1億200万人となり、長期的には9,000万人程度で概ね安定的に推移するものと推計される。
- なお、仮に、合計特殊出生率が1.8や2.07となる年次が5年ずつ遅くなると、将来の定常人口が概ね300万人程度少なくなると推計される。



(注1) 実績は、総務省統計局「国勢調査」等による(各年10月1日現在の人口)。国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」は出生中位(死亡中位)の仮定による。2110~2160年の点線は2110年までの仮定等をもとに、まち・ひと・しごと創生本部事務局において機械的に延長したものである。

(注2) 「合計特殊出生率が上昇した場合」は、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来」委員会における人口の将来推計を参考にしながら、合計特殊出生率が2030年に1.8程度、2040年に2.07程度(2020年には1.6程度)となった場合について、まち・ひと・しごと創生本部事務局において推計を行ったものである。